

注 意 報

農技セ第4510号
平成25年7月1日

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成25年度農作物病害虫発生予察情報について

平成25年度農作物病害虫発生予察注意報第2号を公表したので送付します。

平成25年度病害虫発生予察注意報第2号

平成25年7月1日
徳 島 県

6月後半の巡回調査において、ハダニ類の発生が平年より多く、また向こう1ヶ月の平均気温は平年より高くなると見込まれていることから、今後も発生が増加し多発生が懸念されますので、注意報を発令します。

現地においては発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：サツマイモ

病害虫名：ハダニ類

1. 発生地域 県北東部のサツマイモ栽培地帯
2. 発生時期 7月～
3. 発生程度 中～多(前年よりやや多く、平年より多い)
4. 注意報発令の根拠
 - (1) 6月後半の巡回調査では、発生圃場率は87.5%、寄生葉率は27.4%であり、平年(55.8%、9.3%)と比べて高めの発生である。
 - (2) 6月28日発表の1ヶ月予報では、前半は平年と同様に曇りや雨の日が多いが、後半は平年と同様に晴れの日が多いと見込まれている。気温は平年並または高く、降水量と日照時間は平年並と予想されており、やや発生助長的な気象条件である。
5. 防除法等
 - (1) 多発生後は防除が困難となるので、ルーペや虫眼鏡等を用いて圃場全体をよく観察し、発生を確認したら直ちに防除を行う。
 - (2) 薬剤は十分な量で葉裏に付着するように丁寧に散布する。
 - (3) 薬剤抵抗性の発達を避けるために、同一系統薬剤の連続散布を控え、系統の異なる薬剤を輪番で使用する。なお、気門封鎖系薬剤は物理的に作用するため、抵抗性発達の防止に有効である。
 - (4) その他、防除等の詳細については、徳島県植物防疫指針を参照するとともに、薬剤の使用に当たっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守する。



カンザワハダニが多発生したサツマイモ葉
(左：葉表，右：葉裏)



カンザワハダニ